

東海市家庭教育支援チーム
“ パパママ学級東海～産前産後ケア～ ”

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	<u>東海市 家庭教育支援チーム</u> (呼称: パパママ学級東海～産前産後ケア～) URL: <u>https://www.instagram.com/papamama.tokai</u>
②活動拠点	東海市立加木屋市民館
③活動範囲	東海市内全域、近隣の市内等
④組織体制	<u>4人</u> 保育士 2人、民生委員 1人、児童指導員 1人
⑤活動開始年度	<u>令和4年度</u>
⑥問合せ先 【公表可能な連絡先】	(部署・氏名等) 代表・石田 弘枝 (TEL) 090-1753-7943 (E-mail) papamama.tokai@gmail.com

(2) 活動内容について

<p>①活動形態 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)</p> <p>L <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等)</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>
<p>②活動対象 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上</p> <p>の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>
<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>◎おしゃべりサークル 我が子を目の届く範囲で遊ばせながら、育児の悩みを相談し合ったり、地域ならではの情報をシェアし合ったりして、ゆったりとした時間を過ごしてもらい、がんばっている自分を認めたり、がんばっているのは自分だけではないんだと安心したりする場になるようにしている。毎年 1.2 月は、焼き芋名人のおじいちゃん特製の焼き芋を囲む会も実施中。</p> <p>◎託児 現役保育士に預けることで、安心して自分自身の時間を確保するきっかけ作りとしている ※開催場所都合により、現在受付停止中</p> <p>◎ママのひとやすみ 加木屋市民館主催事業の託児ボランティアとして参加している。睡眠不足になりがちな乳幼児期の母親に対して、乳幼児を別室に預けて、個人の睡眠スペースが設けられた和室で横になり、ひとやすみをしてもらっている。 ※開催場所都合により、現在休止中</p> <p>◎LINE オープンチャット 地域の子育てのイベントや役立つ情報などを、気軽にシェアし合える場として、LINE オープンチャットを開設。 オープンチャット「愛知県東海市 子育て情報チャット ～パパママ学級東海主催～」</p> <p>https://line.me/ti/g2/r2IMtM74-n_wiMK-Qu39yuW6RO2dSyY8AEt7Lg?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default</p>



焼き芋を囲む会



託児の様子
現役保育士が預かっています



ママのひとやすみでは
現役保育士
民生児童委員さんなど
多世代の大人が
大切なお子さんを
お預かりしています

愛知県東海市 子育て情報チャット
～パパママ学級東海主催～



④活動の成果
(活動実績がある
場合)

◎おしゃべりサークル

加木屋市民館の駐車場が広いこともあり、加木屋地区在住の方だけではなく、少々遠方の地域に住んでいるママも、参加してくれている。サークルは基本予約制ではないが、何度も顔を合わせているうちに、会話も弾んだり、LINE 交換をしたりする姿も見られる。

◎託児

預かる前には、保育士とオンラインで事前面談をして、安心して託児してもらえるよう努めている。子連れでは行けない場所(カフェ、買い物等)に行ったりなど、産後忘れていた自分だけの時間を思い出したり、24時間一緒にいる我が子と数時間離れることで、より我が子を愛しいと感じたりする機会になっている。

◎ママのひとやすみ

最初は我が子と離れることに罪悪感があったり、遠くで聞こえる泣き声に緊張したりしていた母親も、自分なりのおやすみグッズを持参したりして、ぐっと睡眠が取れている様子。

	<p>◎LINE オープンチャット</p> <p>地域で開催予定の子ども向けのイベントなどを、主催者だけではなく、参加しているメンバー同士でシェアしたり、保育園入園やお出かけスポット等、気軽に質問・回答がし合っている。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>